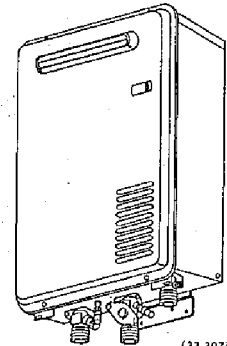


ガス給湯器

33-307/308型

型式名 GQ-165WZ
GQ-165WZ-F



(33-307型)



(メインリモコン)

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なお、
ご不明な点があればお買い求めの販売店
にお問い合わせください。

本社ガスビルサービスセンター支社所在地および電話番号

大阪支社	☎650	大阪市西区千代崎3丁目2番35号	☎大 阪 06(566)3200
南部支社	☎690	堺市住吉橋町2丁目19号	☎堺 0722(38)1131
北部支社	☎569	高槻市藤の里町39-6	☎高 槻0726(71)0961
東部支社	☎578	東大阪市梅葉2丁目3番17号	☎河 内0729(62)1131
兵庫支社	☎650	神戸市中央区東川崎町1丁目8番2号	☎神 戸078(350)3100
京都支社	☎600	京都市下京区中坐寺薬師町1番地	☎京 都075(311)7381
奈良支社	☎681	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈 良0742(44)1111
和歌山支社	☎640	和歌山市本町1丁目5	☎和 歌山0734(31)2481
兵庫西支社	☎670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫 路0782(85)2221
豊岡支社	☎668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊 岡0796(23)2221
滋賀支社	☎525	草津市追分町光畑880の1	☎草 津0775(52)5311
滋賀東支社	☎522	彦根市大東町12番11号	☎彦 根0749(22)3131
(総機ビル)	☎526	長浜市南員坂町3番4号	☎長 浜0749(52)7171
本社・ガスビル サービスセンター	☎541	大阪市中央区平野町4丁目番2号	☎大 阪 06(262)2221

大阪ガス株式会社

「おねがい」

ガスくさいときは、ガス元せんを閉め、窓を全開にして（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

 **大阪ガス**

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯器をお求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

●ごあいさつ・もくじ	1
●特長・機能の紹介	2
●必ずお守りください	3
●各部の名まえと扱い方	7
●初めてお使いいただくときは...	10
●使用方法	11
●点検・お手入れ	15
●故障かな?と思ったら	17
●仕様	20
●寸法図	21
●保管とアフターサービス	23

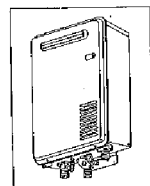
特長・機能の紹介

●カンタン操作

メインリモコンで約38℃～約46℃と約50℃・約60℃・約75℃の範囲で給湯温度の調節ができます。

●コンパクト設計で設置スペースをとりません。

器具とリモコンの組み合わせ

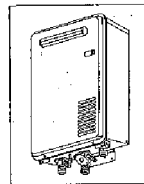


操作場所など



メインリモコン

メインリモコンとサブリモコンがある場合



操作場所など



メインリモコン

居室など



サブリモコン
(別売品)

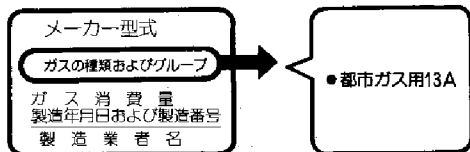
必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

●使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確認してください。
器具本体の正面にはつる銘板（ラベル）に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

（銘 板）



- ガスの種類は都市ガスだけになります。
- 新宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確認してください。
この器具はAC100V、50ヘルツ用です。自宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

●用途についてのご注意

- 給湯及びシャワー以外の用途には使用しないでください。

●器具設置についてのご注意

- 器具の設置・工事は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

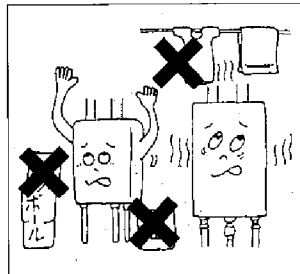
●使用上のご注意

ガス漏れ予防

- 使用後は運転スイッチを「切」にしてください。
- 使用中にガスのおいみや、不快なおいがないかときどき確かめてください。

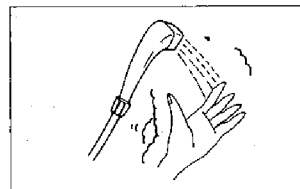
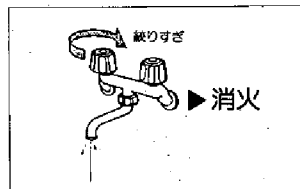
火災予防

- 器具の上やそばに乾えやすいもの（紙、洗たく物、揮発油など）を絶対においだり近づけたりしないでください。
- 排気口の上にタオル、ふきんなどをのせないでください。
不完全燃焼や異常過熱の原因になります。



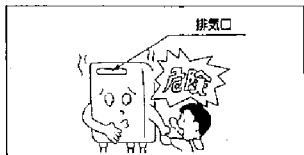
出湯についてのご注意

- 湯量を絞りますと、消火しお漏れなりません。
- シャワーを使用されるときは、手で湯温を確認してからお使いください。
- 台所と浴室などで同時に使用しますと、湯量が少なくなったり、湯温が変化することがあります。

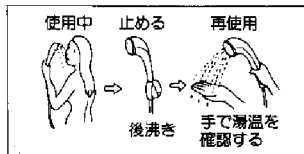


やけどのご注意

- ご使用中および使用後しばらくは、器具本体と排気口とその周辺は熱くなりますので、手をふれたりしないでください。特に、小さなお子様がいらっしゃる家庭はご注意ください。

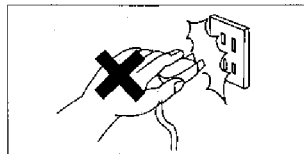


- シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは器具の後沸きによって一瞬熱い湯がでることがありますので、ご注意ください。



ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元栓を閉じ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。(絶対に使用しないでください)
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど、しないでください。



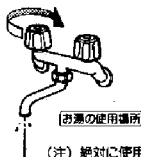
凍結についてのご注意

- 冬期には器具内の水が凍って器具が破損することがあります。凍結のおそれのある期間中は14ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

異常時の処置

- 異常燃焼、臭気、異音などを感じたときや、地震、火災のときは、あわてず次の処置をし、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

(1)給湯せんとしめる。



(注) 絶対に使用しないでください。

(2)運転スイッチを「切」にする。
(又は電源プラグをコンセントから抜く)



(3)給水元栓・ガス元栓をしめる。



雷雨時のご注意

- 近くで雷の音が聞えてきたときは、落雷時の電子回路の故障を防止するため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。(電源コードが埋込まれている場合は、元のブレーカーで切ってください)
- 雷が遠ざかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



日常の点検・手入れ

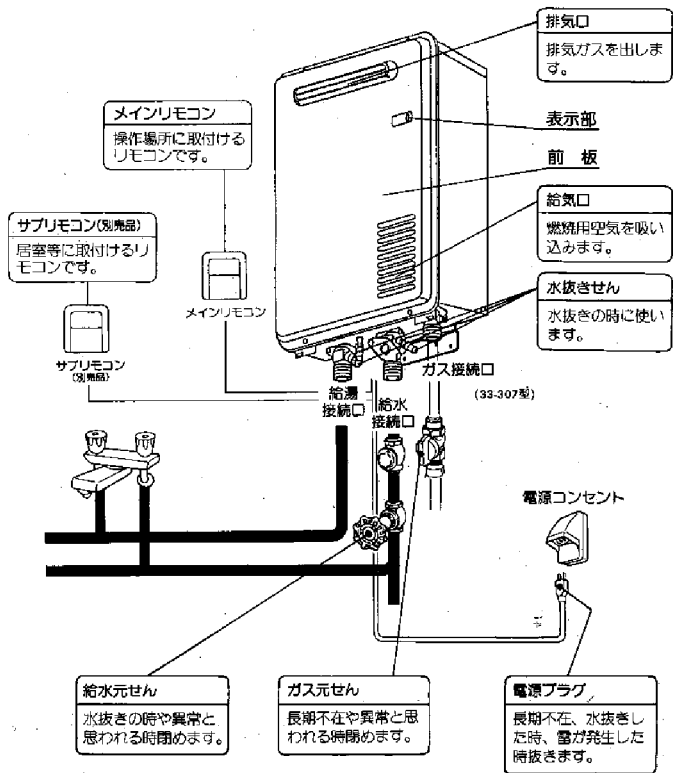
- 日常の点検、手入れをしてください。(詳しくは15ページをごらんください)
- 故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。このとき、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

飲用にお使いのとき

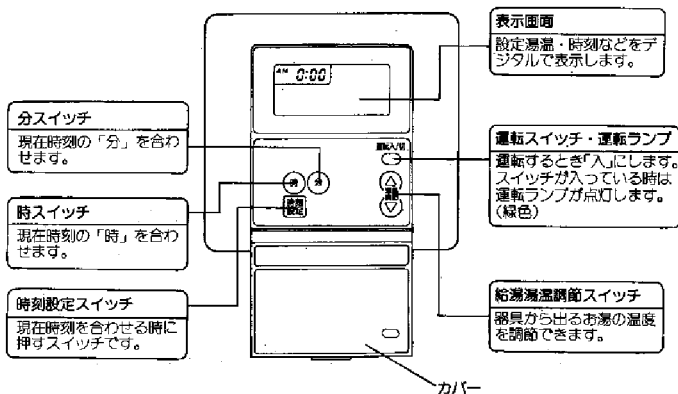
- 器具内に長時間たまっていく場合は、飲用または調理に用いないでください。

各部の名称と取り付け

●器具本体

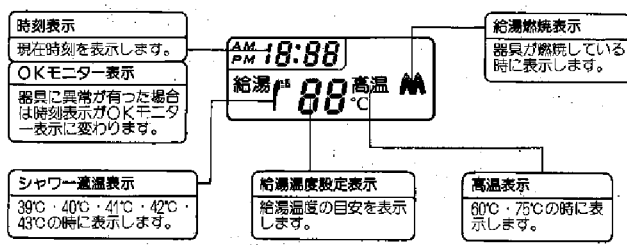


●メインリモコン



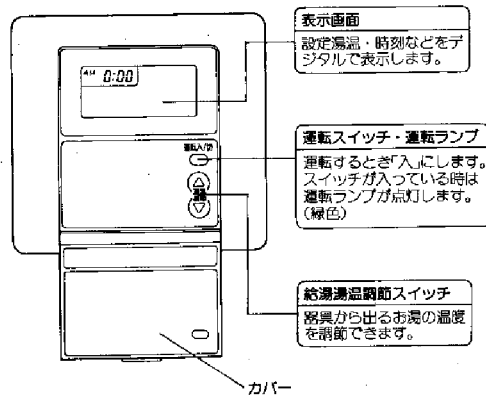
●画面表示

炎の画面表示は説明のため、全部表示したものです。実際の運転のときは、該当部分が表示されます。



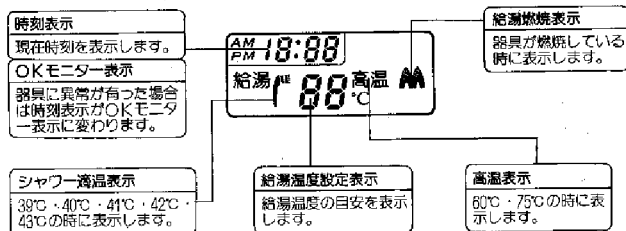
初めてお使いいただくときは

● サブリモコン (38-152型・別売品)

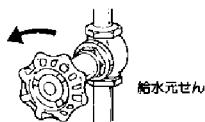


● 画面表示

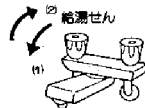
次の画面表示は説明のため、全部表示したものです。実際の運転のときは、該当部分が表示されます。



1. 給水元せんを全開にします。



2. 給湯せんを開け、水の出ることを確認し、再度閉めます。



3. ガス元せんを全開にします。

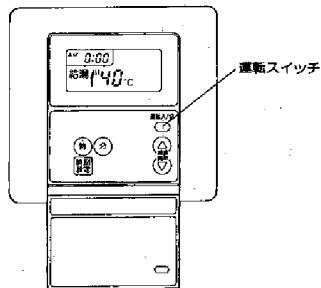


4. 電源プラグを差し込みます。



● 操作確認音について

リモコンはスイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」と音がします。



消しがた

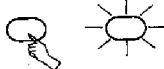
リモコンの「運転スイッチ」を5秒以上連続して押し続けることによりリモコン操作時の操作確認音を消すことができます。

鳴らしかた

リモコンの「運転スイッチ」を再度5秒以上連続して押し続けることによりリモコン操作時の操作確認音を鳴らすことができます。

1 運転ランプが点灯していることを確かめます

運転入/切 運転入/切



●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押して「運転」状態にします。

2 給湯温度調節スイッチを押して温度を調節します

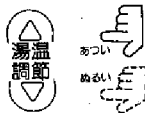
●電源投入時は「40℃」になっています。



●温度の調節は30～40℃まで一度押すと1℃ずつそれ以上は50℃、60℃、75℃の表示ができます。温度表示は目安です。

あとはシャワーなどをお使いになると、設定した温度のお湯が出ます。

★シャワーの温度はこのスイッチで決まります。リモコンの表示画面の「給湯」側に、設定した温度が表示されます。シャワー電源起動時、33℃～43℃には「マーク」が出ます。



ご注意!

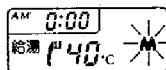
60℃、75℃の時は「高温」という文字が点滅して注意を促します。
(シャワー使用中湯温を要するとやけど等)
非常に危険です。



3 給湯せんを開けます

●画面の給湯部に「AA」が表示され、お湯が出ます。

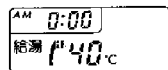
- 使い始めは給湯配管内の水が流れ出すまでしばらくお湯が出ません。
- 給湯せんを2ヶ所以上で同時使用されるとぬるくはったり水量が少なくなることがあります。
- ご使用後すぐに、再度お使いになるときは湯温が不安定になることがあります。シャワーで使用される時は手で湯温を確かめてからご使用ください。



4 給湯せんを閉めます

●バーナが消火し、画面の給湯部の「AA」が消えます。

★運転スイッチ「切」でも元の温度を記憶しています。



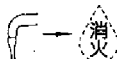
ご注意

- 水圧などにより出湯量が少なくなる場合があります。
- 停電後または、電源プラグを抜き差ししたあとは温度設定は「40℃」に戻ります。

ご注意

- 給湯せんを絞りすぎる（1分間約3.5秒以下）と熱いお湯が出たり、消火することがあります。
- 給湯温度は前回、リモコンで設定した温度になります。しばらくしてお使いのときは、お好みの湯温になっているか確認してからお使いください。
- 前回設定の温度が「75℃」の場合は、安全のため「60℃」になります。
- 停電や電源プラグをコンセントから抜いた後、再通電した時は設定温度は「40℃」になります。再度設定してください。

絞りすぎ



時刻設定

- ★停電後は 0:00 の表示に戻りますので再度時計を合わせる必要があります。
- メインリモコンのふたを開けて操作します。

1 時刻設定スイッチを押します

時刻設定



- スイッチを押すと、画面の時刻表示が点滅します。

2 時 分スイッチで、現在時刻を合わせます

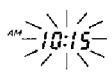


- 時分スイッチを押しながら、現在時刻を画面に表示します。押し続けると、連続的に数字が変わりますのでご注意ください。

★AM (午前) とPM (午後) を間違えないよう注意。

3 時刻設定スイッチを再度押します (点滅が止まります)

4 時刻合わせができました



- 時分表示は、あわせてから約10秒後、自動的に点滅は止まります。

凍結予防方法

冬期は給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起ることがあります。このような事故を防ぐため、次のような処置をお取りください。

●凍結予防ヒーターによる方法

- この器具は、外気温がさがつくと自動的に凍結予防ヒーターが器具内を保温します。
- この装置は運転スイッチの「入」に「切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動しなくなりますので、ご注意ください。

※配管部分の凍結まで予防できませんので、必ず保温材を巻きつけてください。

●通水による方法

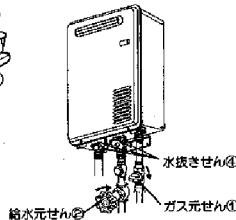
- この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。
- ①運転スイッチを「切」にし、ガスの元栓をしめます。(電源プラグは抜かないでください)
- ②給湯せんをあげ1分間に約200cc以上 (牛乳ビン本々ぐらい) (特に寒い日は多目に) を流し放ししておきます。
- ★流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。

●器具内の水を抜く方法

入居前や長期不在の場合は必ず行なってください。また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください。

●水抜きの順序

- ①運転スイッチを「切」にします。
- ②電源プラグを抜きます。
- ③ガス元せん④を開めます。
- ④給水元せん⑤を開めます。
- ⑥すべての給湯せん⑦を全開にします。
- ⑧水抜きせん⑧ (3ヶ所) を左にまわして開けます。(水抜きせん⑧から水が出ますので容器等で水を受けてください)
- 再度ご使用になるまでそのままの状態にしておきます。



●再びご使用になるとき

- ①水抜きせん⑧ (3ヶ所) を閉めます。
- ②すべての給湯せん⑦をいったん閉めます。
- ③10ページの「初めてお使いいただくときは…」にしたがって使用してください。

【ご注意】

※別働隊施工の状況により、「凍結予防ヒーターによる方法」や「器具内の水を抜く方法」では、配管部分の凍結まで予防できない場合がありますので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

●点検・手入れの際のご注意

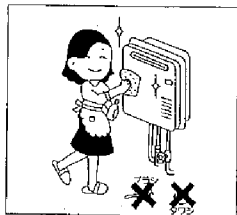
- 器具を安全、快適に、ご使用いただくために日常の点検・手入れを必ず行なってください。
- 点検・手入れの際には、運転スイッチを「切」にして器具が冷えてから行なってください。
- 器具及びリモコンはアタを開けないでください。（故障の原因になりますので絶対に分解しないでください）

●点 検

- 器具の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものを置いていませんか？
- 排気口や給気口をふさいでいませんか？

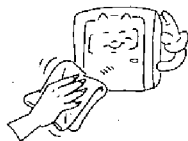
●お 手 入 れ

- 外装の掃除
やわらかい布に中性洗剤を付けて、軽く拭いてください。
（タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください）

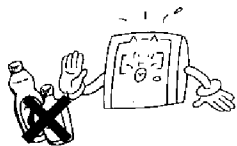


●リモコンの掃除

- ★リモコンの表面が汚れた時は、十分水を絞った布で拭いてください。（かわいた布で拭いた場合、液層が乱れることがあります）故障ではありません。放置しておきますとこの状態に戻ります。）



- ★リモコンの掃除にはベンジンや油類系の洗剤を使わないでください。変形する場合があります。

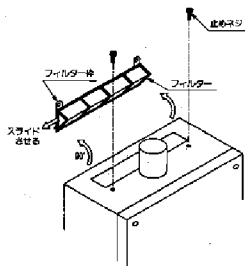


●フィルター掃除（33-308型のみ）

- フィルターは月に1回程度、掃除を行なってください。

●掃除の方法

- 1) 止めネジを外します。
- 2) フィルター枠を90°回転させて引上げます。
- 3) フィルター枠からフィルターをスライドさせて外します。
- 4) フィルター枠とフィルターを掃除します。
（ホコリは掃除機で吸い取るか、水洗いをしてください。油汚れの場合は、中性洗剤等で洗ってください）
- 5) 1)～3)の逆の手順で取り付けます。



点検お手入れ後の確認

- 点検・お手入れの後は運転スイッチを「入」にして給湯せんを開いて器具が正常に作動しているか確認してください。
万一、異常な燃焼、異常音、異臭を感じられたときはお買い求めの販売店またはおよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

故障かな?と思ったら

ご使用中に普段と違った状態になったときや、不具合が生じたときは下記の処置を行ない、それでも直らないときは、ただちに使用を中止してお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へ連絡してください。

原因	電源プラグがはずれている	ガス元栓の開き不十分	給湯元栓の開き不十分	配管内に空気が残っている	水ストレーナの詰まり	断水している	凍結している	給気口・バーナ出口・熱交換器・ノズルの目づまり	安全装置が作動	電気配線の故障	停電
原因	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
処置方法	プラグをコンセントに差し込む	ガス元栓を全開にする	給湯元栓を全開にする	点火操作を繰り返す	詰まりを除去する	給湯使用をいったん中止する	解凍するまで使用を中止する	点検を依頼する	点検を依頼する (安全装置が作動する場合)	点検を依頼する	再度電気を待つか

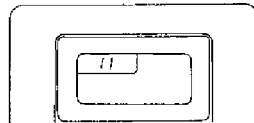
処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

●OKモニターの表示をお調べください。

この器具は不具合を生じたときにその原因をOKモニターで知らせる機能があります。下表の表示に応じた処置を行なってください。

(例)「11」を表示したとき



表示	原因	処置
11	燃焼を検出しなかったため	運転スイッチをいったん切り、再度押し表示がでなければ使用できます。
31	入水温度センサー系統の不具合	★
32	出湯温度センサー系統の不具合	★
61	ファン回転検出系統の不具合	★
72	燃焼検出系統の不具合	★

★印又は不明な場合は、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●次のような場合は故障ではありません

こんな場合	説明
給湯機を繰り返して水になった	この器具は流量が3.5ℓ/min以下になったときには消火します。
低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少く量得ようとする、設定が高くなります。給湯機をもっと開いて出湯量を多くすれば水温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急激に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ボール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い全く無害なものです。
排気口から白煙が出る	外気温が低い時には排気ガスが水蒸気が白煙となりますが故障ではありません。
蛇口を開いてもすぐお湯が出てこない	器具から蛇口までは、距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
出湯停止後もファンの回転音がある	再度燃焼の点火をより早くするため約3分間は回転しています。
表示画面(液態)が乱れている	リモコンをガウシテックで拭いた場合、液態表示が乱れることがあります。この場合液晶(30分以上)してよくと正常にもどります。
表示画面が0.00になっている	停電後再送電すると表示画面の瞬時表示が0.00になります。なお、温度表示も変わりませ(初期状態)ので、再度設定をしてください。

●安全装置が作動したときの処置方法

●点火しなかったり、ご使用中にメインバーナが熄火したときは、17、18ページの「故障がな々と思つたら」に従ってください。

また、※印の安全装置が働いた場合には、メインリモコンの運転スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水元せんを閉めてから、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

①給水元せんを閉める。



「お湯の使用場所」

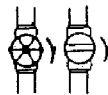
(注) 絶対に使用しないでください。

②運転スイッチを「切」にする。
(又は電源プラグをコンセントから抜く)

運転入/切



③給水元せん・ガス元せんをしめる。



●安全装置の種類とその働き

■下記の異常時には、自動的に運転を停止します。

- メインバーナの炎が消えた場合 立消え安全装置
- 空だきした場合 空だき安全装置 (※)
- 器具の温度が異常に上昇した場合 過熱防止安全装置 (※)
- 電気回路に漏電が生じた場合 漏電安全装置 (※)

商品の呼び		33-307型	33-308型
種類	設置方式	屋外式壁掛形	屋内式壁掛形
	給湯方式	先止め式	
点火方式		電子イグナイターによるダイレクト点火	
水圧	使用水圧	1.0~10kg/cm ²	
	作動水圧	0.1kg/cm ²	
最低作動流量		3.5ℓ/分	
外形寸法 (高さ×幅×奥行) (mm)		600mm×350mm×160mm	600mm×350mm×230mm
重量(本体)		18kg	19kg
接続	給水	15A (R $\frac{1}{2}$)	
	給湯	15A (R $\frac{1}{2}$)	
接続	ガス	15A (R $\frac{1}{2}$)	
電気関係	電圧	AC100V(50/60Hz)	
	消費電力	54/55W(凍結予防ヒータ 154W)	74/74W(凍結予防ヒータ 154W)
安全装置		立消え安全装置、熄火安全装置、過熱防止装置 過圧防止安全装置、凍結予防装置、誘導保護装置 過大風圧安全装置(33-308型のみ)、漏電安全装置	
使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量 (最大消費量) (kcal/h)	出湯能力(能力大) (ℓ/分)	
		25℃	40℃
都市ガス 13A	30,000	16.0	10.0

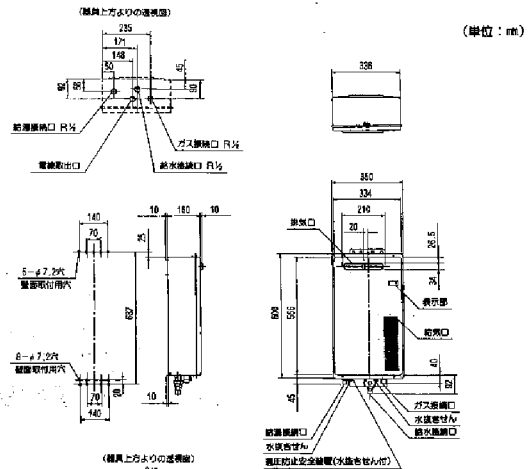
◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

◎出湯能力は計算値です。

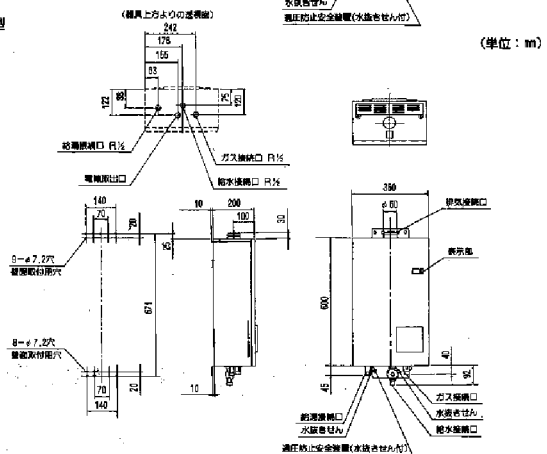
◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

●器具本体

● 33-307型

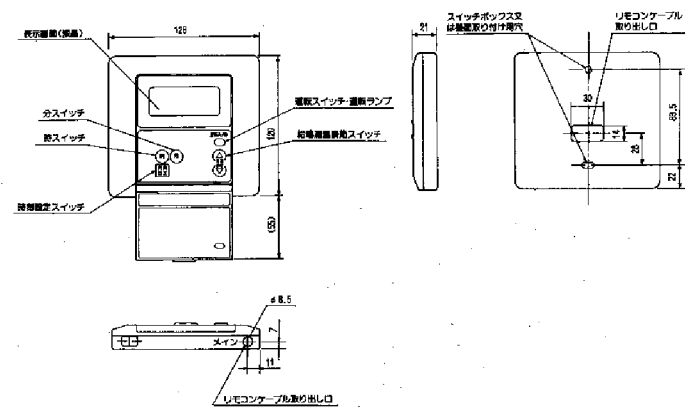


● 33-308型



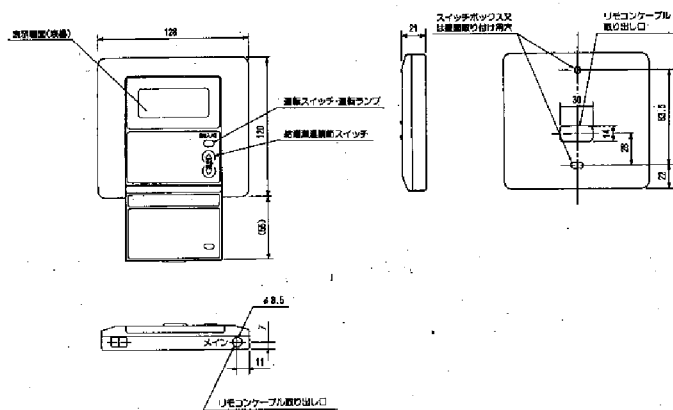
●メインリモコン (本体同梱)

(単位: mm)



●サブリモコン (38-152型・別売品)

(リモコン専用)



保証とアフターサービス

●長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
(1)ガスの元せんに閉じる。
(2)給水元せんに閉じる。
(3)電源プラグを抜く。
(4)風呂の水抜きを行なう。(水抜き方法は14ページを参照してください。)

●アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- まず「故障かなやと思ったら」をご相談のうえ、なほ異常のあるときはお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- アフターサービスを申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 1. ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印等）
 2. 品名…… 33-307・309型
（右のようなラベルを器具の正面下部に貼付けてあります。）
 3. 現象……できるだけ詳しく
 4. 訪問ご希望日

(例)

(N)33-307

大阪ガス株式会社

転居される場合

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
 - この場合調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
- ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

保証について

- このガス給湯器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガス給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後7年です。その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。

